

「僻南のまほろばを歩く旅」用語集（改定版）

2024.09.15（日）、佐伯市民大学・最終発表会、さいき城山さくらホール

Page No.	用語	佐伯市民大学・最終発表会	出所
テーマ	僻南	県北の人々は「南の僻地」という意味で佐伯地方を僻南と呼ぶ（らしい）	
名	まほろば	「素晴らしい場所」、「住みやすい場所」という意味の日本の古語	Wikipedia
1	ウェルネスツーリズム	ウェルネス（後述）を提供する旅	
記載なし	ニューツーリズム	ニューツーリズムとは、従来型の観光旅行ではなく、 テーマ性の強い体験型の新しいタイプの旅行とその旅行システム全般 を指す。旅行者の出発地で商品化される発地型商品と異なり、地域が主体となって旅行商品化を図ることから 地域活性化につながる ものと期待されている。	（株）JTB総合研究所
5	森林資源	・生物資源の一つ ・地下資源、水資源、水育資源とともに重要な天然資源の一つ ・再生可能な資源であるが再生に長時間を要するので計画的な伐採が必要 ・森林資源は建築用材、パルプ原料など用材として利用されるだけではなく、水源涵養、洪水防止、などの国土保全や観光、レクリエーションなど、国民の休養にも役立っている	学研キッズネット
記載なし	中山間地	農業地域類型区分のうち中間農業地域（a）と山間農業地域（b）を合わせた地域を指す。 a. 耕地率が20%未満で、都市的地域及び山間農業地域以外の市区町村及び旧市区町村。耕地率が20%以上で、都市的地域及び平地農業地域以外の市区町村及び旧市区町村。 b. 林野率80%以上かつ耕地率10%未満の市区町村及び旧市区町村。	農水産省
10	シシ垣	・害獣の進入を防ぐ目的で山と農地との間に築かれた垣根や石垣、土塁のこと。 - 漢字では「猪垣」「鹿垣」「猪鹿垣」などと表記する。 ＜シシ垣の分布＞ 東北、北海道にはほとんどない。北陸、南九州、西四国、中国山地は非常に少ない。稠密に分布するのは中部高地、瀬戸内、西九州、沖縄、大分県。 ＜構造上の特徴＞ 西日本では半島や島嶼部の丘陵上の段々畑に石垣で築く。東日本では内陸の火山山麓に土塁で築く。 ＜大分県の特徴＞ 集落を囲む形が多い。大分県のシシ垣は半数以上が旧蒲江町に分布、旧鶴見町を含むと佐伯市の95%を越える。	Wikipedia 大分県教育庁埋蔵物文化財センター調査報告書
15	ウェルネス	身体健康、精神健康、環境健康、社会的健康 を基盤にして、輝く人生をデザインしていく、自己実現の志向	琉球大学（ウェルネス研究分野）
記載なし	ウエルビーイング	ウェルネスが達成された状態	琉球大学（ウェルネス研究分野）（2017年）
15	アーシング	地球に直接触れて電気的につながる事で、身体に溜まった静電気を放出し、代わりに不足している電子を補給することで地球と同じ電位になる健康法 ＜方法＞ 裸足や自然素材の履物で土等の上を歩く・樹木などに素手で直接触れるなど ＜効果＞ 体内の炎症軽減・有害活性酸素抑制・血液サラサラ効果・安眠効果・免疫力向上など	日本アーシング協会
16	古民家再生	・伝統的な民家を壊さず再生し現代にも家屋や宿泊施設として利用、SDGsにも合致。 ・僻地性や不便がもたらす価値、暮らしの利便と景観が折り合うことの意味を問う。（アレックスカー、古民家再生プロデューサー）	
16	自伐型林業	・伝統的な林業形式で家族経営が主体の小さな林業（すべて自前で完結）。 ・長期にわたる多間伐によることで持続的に林業を営むことが出来る。 ・若者の新たな就業機会を提供している。	
記載なし	佐伯の伝統食	"団子汁・猪肉の団子汁・里いも団子汁ぜんご姿ずし・いかめし・ごまだしうどんおからまめし・ヒジキまんじゅう、など"	佐伯市食生活改善推進協議会編